



DURABLE 暮らしの家

“風雨に強い、地震に強いから
100年先が続ける家”

伝統的であり、最新の技術と設計
工場の最新設備で生産するプレキャスト、
最新の設計であるため
地震に強い、風雨への耐性を確保します。
最新の設計の構造、材料は、
国産の木材が中心で、環境にやさしい材料を使用。
設計に力を入れ、品質を高めることで、
安心して暮らすことができます。



庭作り

完成時に1/2
庭造りの時間を要す

2017年03月28日



庭造りには、敷地の状況や土壌の調査や、プランニング段階から植栽計画を立て、植栽の時期、植栽場所や植栽方法など、様々な要素を考慮する必要があります。また、植栽の後は、定期的なメンテナンスや水やりなどのケアが必要です。

庭の手入れ

庭造りした後のメンテナンス



庭の手入れには、定期的な草刈りや雑草の除去、木の剪定や病気・害虫のチェックなどが必要です。また、庭の土壌の状態を確認し、必要に応じて肥料を施すことも大切です。

庭の広さ

庭の広さを決める際に
庭の広さを決める際のポイント



庭の広さを決める際には、家の広さや庭の用途、予算などを考慮する必要があります。また、庭の広さを決める際には、庭の形状や土壌の状態なども考慮する必要があります。

庭の広さ

庭の広さを決める際に
庭の広さを決める際のポイント



庭の広さを決める際には、家の広さや庭の用途、予算などを考慮する必要があります。また、庭の広さを決める際には、庭の形状や土壌の状態なども考慮する必要があります。

庭の手入れ

庭造りした後のメンテナンス



庭の手入れには、定期的な草刈りや雑草の除去、木の剪定や病気・害虫のチェックなどが必要です。また、庭の土壌の状態を確認し、必要に応じて肥料を施すことも大切です。



耐久の家の形

断熱よく太陽光を活用できる「へもの字屋根」が、構造制約を気にせず太陽を設計が出来ます。
また、坪が狭いので建物全体がコンパクトになり、景観を乱さない長細き形のフォルムです。



軽がなくスッキリ

コンパクトなフォルムは、
建物や敷地の
周囲に馴染むことが出来ます。



へもの字屋根

一般家庭向きに、坪で
太陽光パネルを最大限設置
出来るように設計です。

また、屋根の傾斜は浅く、
風圧を軽減し、耐震した
設計が出来ます。



バランスの良い耐震設計

建物を地震に耐震された結果、大きな地震が起きた際、建物のメンバーを上手に分断し、建物の倒壊を防ぎます。
さらに、壁の配置と同時に柱の配置を考慮した設計、
定期的な点検でなく、さらには確認し日常たりを確保できます。

バランスが **悪い** 壁配置



隅部がメンバーが弱くなるほか、
隅部が倒壊の心配がなされる。

バランスが **良い** 壁配置



隅の配置を考慮しながら、
隅一隅でもしっかりと建物を守ります。



最強の外壁材

住宅で一般的に採用される重量サイディング（建物の壁に貼る重しで耐震性の向上）の側面、断熱性も充分に保たれるに壁紙貼りが必要となりますが、「断熱性能」で使用する軽量サイディングは、2018年度認定建物の必要がありません。
サイディングの側面も、断熱性・耐火性を兼ね備える。まさに理想的な外壁材です。

	重量サイディング	断熱壁	断熱の家
断熱性	△	○	◎
重量サイディングに比べ	劣	品	◎
（構造制振に 断熱材をはさみ設置）	劣	劣	◎
サイディング	△	◎	◎

「Tough & Beautiful」





基礎について

基礎とは、建築物を支えるコンクリート製の基礎構造をいいます。建物の生活空間にする部分が少ない基礎ですが、地盤中基礎以下などから建物を守るための大変重要な部分です。

図8-103では、構造計算に基づく2次元基礎形式である地中壁工法によるべり基礎を説明。図8-104は、基礎断面で、大切な役割と留意点を示す。



上部構造について

強い建物を作るということとは、強い基礎を築くことである。

強さを用いる建物の中には、デザインに匹敵するほどのコストがかかります。





スケルトン・インフィル

壁の代わりに柱間壁を構造体にするなど、自由な開閉を実現。

伝統様式で開閉が実現される。構造に自らのスケルトンに、固定するインフィルで対応して造られるからです。

一般の自由化



壁構造体

固定壁が中心で自由化が限る

壁の位置を変えられず自由化が限る。
開閉を可能にする。

開閉の壁



自由な開閉点の位置

固定壁が構造体で自由化が限る

固定壁の位置を変えられず、開閉が実現可能。
スクリーン・インフィルで自由化が実現。





耐震等級とは

耐震等級とは、地震に対する建物の強さを表す等級のこと。

耐震等級は1〜3まであり、数字が大きい方がより耐震性に優れているということになります。

例えば耐震等級1は1本、強度の計算を行うことで安全度を確保するためのとしています。

しかも、計算の基準は木造住宅における最も強い住宅「耐震等級3」を基準としています。

これは震度4〜5の地震でも強い建物が打ち付けられるレベルです。





構造計算とは

建物により構造計算が必要なのは本来3階建て以上の建物ですが、2階建てであっても構造計算をおこないます。
適正な構造計算によって、材料コストを抑えることができます。





断熱性能について

断熱性能がよければ、まるで魔法瓶のように外側の影響を受けない家が実現し、光熱費が下がります。気候温暖化を考えると、これからは断熱性のよい家が求められています。





気密性能について

住宅の隙間をできる限り減らして気密性を高め、換気扇の吸気システムによって室内の換気できる新鮮空気を均等に供給し、室温的な室内環境をより良くします。

一般的な住宅



空気中の空気漏れが大きい状態

高気密住宅



空気中の空気漏れが小さい状態

注

図表は、気密性能の目安を示すものであり、実際の性能は、気密性能の測定結果によって異なります。気密性能の測定結果は、気密性能の測定結果によって異なります。



換気性能について

窓を開けると同時に新鮮空気、同時に室外空気が入り込みます。窓を開けずに継続的な換気を確保するため「第一種換気システム」を定期的に設置し、室内の酸素をきれいな新鮮空気に変えることができます。



第一種換気システム

新鮮な空気に酸素を供給して換気システムは、常に新鮮な空気を確保し、室内の酸素をきれいな新鮮空気に変えることができます。定期的に設置し、室内の酸素をきれいな新鮮空気に変えることができます。



図1 換気前 35℃にして室内の温度



図2 換気後 20℃にして室内の温度



外観カラー

5 colors



ダークブラウン



ミッドグレー



ブラック



ライトグレー



ブラック



家づくりの流れ

